

## 行政報告（令和2年3月3日議会定例会）

皆様、おはようございます、本日から11日間の定例会よろしくお願ひいたします。

春の風が心地よい季節となりました、今日この頃、議員各位におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、去る2月25日に、令和2年第1回松田町議会定例会の招集告示をいたしましたところ、議員各位におかれましては、公私にわたり大変ご多用のところ、（全員・多数）のご出席をいただき、ここに本定例会が開会されましたことを、まづもって御礼申し上げます。

りくぜんたかた

先ず、岩手県 陸 前 高 田 市より、3月11日に行われる、東日本大震災追悼式のご案内がありました。本年は、松田中学校の卒業式と重なっているため、先月の2月20日に、日帰りとなりましたが、松田町を代表して、私と副議長にて、追悼の意を込めて、町民のみ

とば たかた

なさんをはじめ、多くの方からの心が込もった復興義援金を直接、戸羽陸前高 田 市長に手渡ししてまいりました。今年は、震災から早くも9年を経過する年となりますが、最愛の御

あいせき た

家族や御親族、御友人を亡くされた方々のお気持ちを思うと、今なお 哀 惜 の念に堪えません。お亡くなりになった多くの方々のご冥福をお祈りし、また、今なお、ゆくえが判らない方への哀悼の誠を捧げると共に、御遺族の皆様のご平安を心から祈念するとともに、被災された全ての方々に、心からお見舞いを申し上げます。

それでは日を追って、主な行事などについて、御報告させていただきます。

年が開けた1月5日に、本年最初の町の行事としまして、松田町賀詞交換会並びに表彰式

えい よく

を行いました。本年の表彰の 栄 に 浴 されたのは、自治功労表彰4名、一般表彰15名、感謝状を14名、2団体でございました。表彰された皆さま方には、これからも町政に対しまして、更なるご指導、ご尽力を賜りたいと存じます。今年も式典終了後にふるさと大使である北川大介さんの「おもてなしコンサート」が行われ、町の寺子屋教室に通う子どもたちと一緒に童謡を歌うなど、およそ300人（昨年400人）の町民の皆さんに楽しいひと時を過ごしていただきました。

でぞめしき

次に、1月7日には、酒匂川町民親水広場で消防 出 初 式 を挙りましたところ、議員の皆様には、寒中の中、ご高覧いただき、改めて厚く御礼を申し上げます。消防団員のみな

けんしん

さまは、本業を持ちながら、日夜、火災や災害などから町民の生命、財産を守るため、献身的な活動をしていただいていることに、深く感謝しております。当日行われた、統制のとれたまもの

た分列行進や消防操法は、訓練の賜物であり、たいへん心強く感じられました。引き続き、町民の安全・安心な暮らしを守る為、危機管理体制の強化を図って参ります。

続きまして、1月11日から始まりました、第9回寄ロウバイまつりは、開花が順調に進んだことから、当初日程どおり、2月11日をもって終了しました。今年度の来場者数は、約2万5千人（昨年2万7千人）の方が来園され、甘い香りと心地よいひとときを楽しんでいただきました。また、今年も、来園者のために、町内の小学生が地元木材で制作したテーブルに、富士山や町のイベント風景をペンキで描いていただき、地域全体で盛り上げていただきました。実行委員のみなさまをはじめ、関係者の方におかれましては、寄地区の賑わいはもちろんのこと、松田町のPRを担っていただいていることに、深く感謝申し上げます。

次に、1月12日の成人式では、大人の仲間入りをした新成人109名で、内74名の新成人をお迎えし、私自身も気持ちを新たにしたところです。式典には国会議員はじめ、県議会議員、町議会議員の皆さまが御来賓として、御臨席賜るとともに、多くの関係者の方々にご参加いただき成人者の意見発表や、思い出ムービー上映など、成人式をとどこおりなく行うことができました。誠にありがとうございました。

続きまして、1月26日、雨の中の開催となった、第74回足柄上地区一周駅伝競走大会は、全12チーム出場のもと、足柄上合同庁舎をスタートし、松田町をはじめとする足柄上地区各市町を7人のランナーでタスキをつなぐ大会として、松田町は、2チームエントリーし、松田Aチームについては、昨年度の記録を更新し、結果2位の好成績を収めて頂きました。今年は、第2区の高校生と、最終7区のアンカーが区間賞の快走を見せました。沿道において、町民のみなさんから心強い応援をいただき誠にありがとうございました。また、2月9日には、県内30市町村で競う、第74回市町村対抗「かながわ駅伝」競走大会が行われました。結果として、町村の部の入賞を逃しましたが、町体育協会の皆さまのご尽力はもとより、選手の日ごろの練習や努力、更には、関係する全ての方との協働・連携協力によるものと感謝申し上げます。この結果により、運動やスポーツ、また、社会参加を行う方が増える事で、オリンピックイヤーの波にのり、町民各位の健康寿命の延伸につながる事に期待しているところでございます。

次に、2月8日より始まりました、第22回まつだ桜まつりにつきましては、2月中旬から下旬にかけて、満開を迎え、多くの方々と賑わっております。今年は、桜と関東富士見百

景に選定されている、桜まつり会場で、松田大名行列の勇壮な奴振りが行われ、多くの来訪者を楽しませていただきました。本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、3月1日を持って、桜まつりは終了しました。

最後になりますが、3月15日に予定されていましたが、第22回「ふくしあったかフェスタ2020」については、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、町民の皆さまの不安をふっしょく

払拭し、命を守ることを最優先に考えられ、本年度は中止となりました。何卒ご理解賜りますようお願いいたします。

それでは、議会に先立ち、貴重なお時間を拝借いたしまして、令和2年度予算(案)をご審議いただくにあたり、所信の一端を述べさせていただくところですが、その前に、先ず、この定例会に提案をさせていただいております条例案、補正予算案等の概要についてご説明申し上げます。提出議案については、承認案件1件、条例の一部を改正する条例6件、規約の変更1件、補正予算7件、新年度予算9件でございます。また、名誉町民の推挙について1件と、同意を願う案件2件については、準備が整い次第、提出させていただきます。

承認第1号 専決処分の承認を求める件については、台風19号に伴う町道寄11号線の災害復旧事業によるものです。

議案第1号 松田町印鑑条例の一部を改正する条例については、国の印鑑登録証明事務処理要領の一部が改正されたことにより、所要の改正をしたいので、提案するものです。

議案第2号 松田町交通指導隊設置条例の一部を改正する条例については、地方公務員法及び地方自治法の一部改正により、非常勤特別職において任用の厳格化が図られたことに伴い、職の適正化を行うため、提案するものです。

議案第3号 松田町職員定数条例等の一部を改正する条例についても、地方公務員法及び地方自治法の一部改正に伴い、新たに一般職の会計年度任用職員制度が創設され、任用、服務規律等の整備が図られるとともに、特別職及び臨時的任用職員の適正な運用に向けて、所要の改正を行うため、提案するものです。

議案第4号 松田町福田奨学基金条例の一部を改正する条例については、寄附者である福田氏の意向により、小学生を対象としている範囲を、中学生まで受給資格を拡大することに伴い、所要の改正をしたいので、提案するものです。

議案第5号 松田町国民健康保険税条例の一部を改正する条例については、「国民健康保険法施行令」の一部改正により、国民健康保険税の課税限度額及び保険税軽減所得の見直しがされたことにより、一部改正を提案するものです。

議案第6号 松田町地域集会施設等の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例については、松田町土佐原公民館の建て替えに伴い、新しく土佐原地域集会施設を設置するため、所要の改正をしたいので、提案するものです。

議案第7号 松田町外二ヶ町組合理約の変更については、当組合所有地の追加買収に伴い、地方自治法第286条第1項の規定による協議の必要が生じたため、松田町外二ヶ町組合理約の変更について、提案するものです。

議案第8号 令和元年度松田町一般会計補正予算(第8号)の主なものについては、年度内のほぼ最後の補正予算でございますので、事業費が確定し、不用となった予算額などを整理させていただいたものでございます。

議案第9号 令和元年度松田町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)については、保険給付費における療養給付費や高額療養費が減ったことによる減額補正をさせていただくものです。

議案第10号 令和元年度松田町上水道事業会計補正予算(第2号)については、神山配  
きんきゅうしゃだんべん  
水池 緊急遮断弁更新工事に伴うものです。

議案第11号 令和元年度松田町寄簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)については、水道施設の更新工事に伴うものです。

議案第12号 令和元年度松田町下水道事業特別会計補正予算(第2号)については、下水道使用料収入の増額に伴う、繰入金の減額補正を行うものです。

議案第13号 令和元年度松田町介護保険事業特別会計補正予算(第3号)については、介護保険事務支援システムの改修に伴う町村情報システム共同組合への改修費負担金の増額に係る補正をさせていただくものです。

議案第14号 令和元年度松田町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)については、神奈川県後期高齢者医療広域連合への保険基盤安定負担金に係る納付金の減額に係る補正をさせていただくものです。

議案15号から23号までが、令和2年度の一般会計予算、特別会計予算、企業会計予算、全9会計を提案させていただくものです。

議案第24号の松田町名誉町民の推挙については、スポーツの発展に貢献された功績と栄誉をたたえ、町名誉町民条例第2条に規定された名誉町民の称号を贈るため、提案するものです。

以上が、提出条例案等のそれぞれの概要でございます。

それでは、令和2年の初めての議会開会にあたり、町政運営に対する所信を申し述べ、議会のみなさま及び町民の皆さまのご理解とご協力を賜りたいと存じます。議案と共にお届けしました「令和2年第1回定例議会所信表明」を基に、令和2年度当初予算案の概要をご説明申し上げると共に、当面の町政に対する取り組みなどについて、所信の一端を申し述べさせていただく訳ですが、新規事業と重要事項などの概要のみとさせていただくことをご了承承願したいと存じます。

はじめに、町民や議会、地域との協働・連携協力による持続可能なまちづくりを実現するため、松田町自治基本条例に基づき、常に町民の目線に立ち、町民のための町政運営を前進させてまいりました。

地方創生関係施策をはじめ、定住促進施策や交流・関係人口施策、防災施策、並びに高齢者や子育て世帯への支援など、議会議員のみなさま、町民のみなさまに多大なご支援、ご協力をいただき、地域の活力や町民福祉の増進に資する施策を展開できたことに、この場をお借りしまして、改めて感謝申し上げます。

さて、当町の人口動向を見ますと、平成25年に人口問題研究所が示された2040年の人口推移によると、約7,000人となり、消滅可能性都市として名指しされたことは、記憶に新しい事と存じます。それ以来、「消滅可能都市」にならない為に、厳しい財政状況の中、松田町が自立し、自走することを目指して、これまで手つかずのまま又は、町単独経費により、何とかしのいで来た状況を打破するために、知恵をこらし、工夫を重ね、国・県の補助金を積極的に獲得し、様々な事業を行って来たことで、5年経過した平成30年の推計では、約300人増え、約7,300人となると示され、人口減少傾向は、緩やかになって来ましたが、まだまだ気を抜くことなく、主体的に行動して行かなければならない状況であります。

そのような中、更なる進化を目指し、令和元年度よりスタートした、第6次総合計画基本構想の将来像、「いのち育み 未来へつなぐ 進化つづける 故郷」の実現に向けて、私は、町民のみなさまが「笑顔あふれる 幸せのまち 松田」として、誇りと愛着を持ち続けられるよう、持続可能な開発目標・SDGsの理念を踏まえて、更なる成長と発展に取り組んで参る所存です。

それでは、令和2年度 当初予算案の概要をご説明申し上げます。

一般会計及び全会計共に、過去最大規模の予算となっております。

始めに、令和2年度松田町の一般会計予算については、50億7,000万円、前年度対比1億9,000万円の増、率にして3.9%の増となっております。

主な増額要因は、松田小学校整備事業によるものです。

国民健康保険事業などの7特別会計の総額は、30億9,574万円で461万円の減、率にして0.1%の減となっております。

企業会計の上水道事業会計については、2億14万円で、373万円の減、率にして1.8%の減となっております。

全9会計の令和2年度予算総額は、83億6,587万円で、前年度比1億8,165万円の増、率にして2.2%の増となり、全会計においても過去最大規模の予算となっております。

続いて、「予算編成の基本的な考え方」でございますが、地方自治体の財政状況は、福祉や子育て関連による扶助費の伸びや公共施設等の老朽化による維持費等の増大など、行財政運営は厳しい環境にあります。

当町においても同様な財政環境がありますが、国や県の施策に呼応することで、財源を呼び込み、対応を図っている状況にあります。

こうした課題等乗り越えていくための鍵となるのが、世界の潮流でもある「持続可能な開発目標・SDGs」であります。

令和元年度にスタートした「第6次総合計画」や令和2年度にスタートする「総合戦略」においても一早くその理念を導入し、あらゆる課題に対し、解決に向けて取組んでおります。

また、「地方創生事業」についても、町の課題を解決する為に、国の支援事業と結び付けながら、補助金などの財源確保に積極的に取組んで参りました。

今後、当面の間は、町政運営の根幹となる、自主財源の確保等について、人口減少に伴う町税収入等の減少を抑制するためにも、引き続き人口減少抑制策に取り組めます。

町が所有する土地等については、最も有効で有益な活用方法による対応を図ると共に、市街化区域等の空き地や未利用地について、住宅地等への誘導を進めるため、官民連携による新たな手法・アイデアを積極的に取り入れ、「稼げるまちづくり」を目指しつつ、並行して将来を見据え、女性活躍社会の実現、子育てや教育環境の充実を図る為、松田小学校整備事業の推進や人口減少を抑制するべく町の魅力の向上の為に、新松田駅周辺整備事業などを着実に進める事で、定住人口減少の抑制により、安定的な税収等の確保や賑わい・雇用の創出などに繋がる事業を推進し、未来を担う子どもたちの成長や高齢者福祉の充実による「いきがい」、「居場所づくり」を図り、持続発展的で魅力あるまちづくりの礎を築けるよう、多世代が融合した「オール松田」で、更なる成長と発展に取り組んでいくための予算としました。

それでは、一般会計における、歳入、歳出について特色のあるものを中心に、ご説明申し上げます。

はじめに歳入になりますが、町税については、15億2,712万円、前年度対比1,035万円の減、率にして0.7%の減となっております。

先ず、固定資産税については、償却資産の増収、軽自動車税については、令和元年10月1日から、燃費性能に応じて新たに課税される「環境性能割」が導入されたことや、軽自動車税への買い替えなどによる種別割の増収を見込んでいますが、個人住民税所得割では、課税対象者の減少などを見込んだことや、法人町民税法人税割では、税率が9.7%から6.0%に引き下げられたことによる町民税の減収と土地の下落による固定資産税の減収を見込み、全体として、町税は微減となっております。

地方交付税については、令和元年10月からの消費税増税に伴う社会保障の充実や経済対策など、特に、全世代型社会保障制度の構築に向け、幼児教育・保育の無償化や予防・健康づくりの取組みなどを踏まえて、令和2年度の地方財政計画に基づき、9億7,500万円を計上し、前年対比7,700万円の増額となっております。

国庫支出金については、6億4,478万円で、前年度対比5,379万円、9.1%の増となっております。地方創生推進交付金や社会資本整備総合交付金、障害者福祉国庫負担金などを計上しています。

県支出金については、3億805万円で、前年度対比458万円、1.5%の減となっております。主なものは、自治基盤強化総合補助金として、地方創生事業の女性の創業支援や水源環境保全・再生施策市町村交付金、地籍調査費補助金などによるものです。

寄付金については、1億円を計上し、前年度より1,500万円の減となっております。これは、ふるさと納税によるものですが、引き続き、国の動向を注視し、観光PRの推進や顧客の拡大、また返礼品の品目を増やすなど寄附額の積極的な受け入れを図ってまいります。

次に繰入金については、本年は、財政調整基金からの取崩しを行う事なく財政運営を行い、松田小学校整備事業経費に充てる分は、教育施設整備基金からの繰入金として、総額8,152万円を計上しています。

町債については、7億1,970万円で、1億3,161万円の増、率にして22.4%の増となっております。令和2年度で予定している町債につきましては、松田小学校整備事業や新松田駅南口駅前広場整備事業、防災行政無線デジタル化事業、通常の道路整備事業となります。

臨時財政対策債については、地方財政計画に基づき、1億7,000万円を計上し、前年度対比1,000万円の減、率にして5.6%の減となり、昨年に引き続き国が示す地方財政計画においては、6年連続にて減少しております。

続きまして、歳出でございます。主な施策等について予算科目順にご説明申し上げます。

始めに、議会費です。予算額8,569万円で、前年度対比4万円の減となっております。

総務費 7 億 9,402 万円で、前年度対比 5,958 万円、7%の減となっております。  
先ず、地方創生推進事業は、2 事業を計上しています。

1 つ目の県西地域活性化プロジェクト推進事業は、1,449 万円、松田町を含む県西地域 2 市 8 町及び神奈川県と連携して、未病改善をキーワードに地域活性化を推進する事業となっております。

2 つ目に、女性が輝き活躍するコンパクトシティ創生事業として、1,168 万円を計上しています。女性が輝き活躍していくまちづくりの実現に向け、地域や団体、NPO 法人など、起業・創業に向けた支援に取り組む経費です。

特に、地域団体と連携して町の資源を活用したイベントなどを開催し、女性起業家の育成支援を絡めた関係人口の確保・増加につなげて参ります。

重点事業の定住少子化対策支援事業及び移住交流推進事業は、新規事業として、空き家・空き地等対策促進事業に 300 万円、新婚世帯の新生活に対する補助事業として、90 万円を計上しています。

続きまして、民生費については、予算額 13 億 4,275 万円、前年度対比 3,831 万円の増、率にして 2.9%の増となっております。

主な増額理由は、障害福祉サービス等給付費や介護保険事業特別会計への繰出金の増額によるものです。

高齢者や障がい者のための基本的な施策はもちろん継続するほか、中学校修了までの小児医療費助成事業や、定住化対策の一環として、ひとり親家庭等医療費助成事業、子育て支援センター・ファミリーサポート事業、学童保育運営事業などを継続してまいります。

次に、衛生費については、予算額 3 億 1,982 万円で、前年度対比 1,036 万円の減、率にして 3.1%の減となっております。

主な減額理由は、令和元年度に完成し、供用開始となった小田原市斎場事務負担金の減によるものです。

継続事業の感染症予防事業については、30 年度よりスタートした小中学生へのインフルエンザワクチンの任意接種の費用の一部を助成する事業などを含め、3,389 万円を計上しております。

この衛生費についても、定住化促進事業として健康診査や健康づくり事業などに引続き取り組んでまいります。

拡充事業では、再生可能エネルギーの利用等促進事業として、新規に、災害時に非常用電源としての活用に協力していただくことを条件に、電気自動車等購入費補助事業を新設し、電気自動車の導入促進及び災害の備えの強化に繋げるための予算を計上し、継続事業として、住宅用太陽光発電システム及び家庭用燃料電池システム等の導入

補助など、200 万円を計上しています。

継続事業の合併処理浄化槽整備促進事業については、宅内配管整備費の補助を新たに追加し、全体として1,944万円を計上しています。

次に、農林水産業費については、予算額9,477万円で、前年度対比420万円、率にして、4.6%の増となっております。

県の里地里山制度を活用する地域の拡充に伴う経費183万円、

寄ロウバイまつり等を開催し、寄地区に観光客を迎え入れ、交流人口を増加させるための寄自然休養村の管理に要する経費1,201万円、かながわ水源環境保全・再生実行5か年計画に基づき、地域水源林として位置づけた区域の私有林等の整備事業に749万円を計上しています。

続きまして、商工費については、予算額1億5,204万円で、前年度対比1,021万円の増、率にして7.2%の増となっております。

主な増額理由は、重点事業の公園管理事務経費で、川音川パークゴルフ場の18ホール化の為、9ホールの増設経費を新規に計上しています。多世代が交流し、健康増進を目的に、楽しめる施設として整備するものです。

商工振興商品券発行事業ほか、商工振興対策事業については、1,095万円を計上しております。

続いて、土木費については、予算額4億7,901万円で、前年度対比2億8,332万円の減、率にして37.2%の大幅な減となっております。

主な減額の要因は、松田小学校への進入路部分でもある町道3号線改良事業等の進捗に伴う減額となります。

住環境などの基盤整備は、定住促進を進めるために、不可欠なものであり、その対策の一つとして、町道及び幅員の狭い生活道路に対する道路補修事業1,680万円を計上しています。

道路新設改良整備事業については、松田庶子線道路用地測量委託や町道寄15号線の整備ほか4,748万円を計上しています。

安心安全な環境整備並びに住宅地等の誘導促進として、道路整備を推進してまいります。

重点事業の新松田駅周辺整備推進事業については、新松田駅周辺地域整備促進支援業務や、新松田駅南口駅前広場整備事業には、1億5,536万円の予算を計上し、新松田駅周辺整備基金への積立金3,000万円を計上しております。

住宅整備事業建設経費については、PFI手法で整備した町屋住宅と籠場住宅の将来の大規模修繕に伴う基金への積立金500万円と、この住宅整備費に伴う割賦分の経費など、1,094万円を計上しております。

次に、消防費については、予算額3億4,543万円で前年度対比2,685万円の減、率にして7.2%の減となっております。

主な事業といたしましては、防災行政無線デジタル化に向けて3か年計画の3年目として、防災無線管理事業に1億3,377万円を計上しております。

防災資機材等整備事業については、防災倉庫備蓄品や災害時非常食購入費など396万円を計上し、地域の安全と安心を守るために活動している消防団員の組織の維持及び団の活動や運営に伴う消防団運営事業経費や、第6分団詰所の建設に伴う設計費用として180万円を計上しております。

続いて、教育費については、10億4,745万円で前年度対比4億7,401万円の増、率にして82.7%の増となっております。

主な増額の要因は、重点事業の木の学校づくり先導事業である松田小学校整備事業に要する経費として、新築工事等における予算と教育整備基金積立金ほかを含めて6億91万円を計上しております。

新規事業の放課後子ども教室事業については、放課後に学校の教室を活用し、地域と学校が連携協力して、学習支援や体験・交流活動の機会を提供する事業として、175万円を計上しています。

小・中学校が土曜日など、休日に地域の方の協力により様々な学習プログラムを実施するための経費「土曜日の教育活動支援事業費（寺子屋運営経費）」220万円を計上しております。

重点事業の学校ICT推進事業費については、2,424万円を計上しております。

小学5年生から中学3年生までのすべての児童生徒にタブレットが配備されておりますので、タブレットの更新費用や授業等を効果的にサポートするため、支援員の派遣にかかる費用などがあります。

この教育費の中についても、若い世代の定住化促進事業があり、給食費保護者負担軽減措置事業として700万円、学校警備員配置事業779万円、社会教育推進事業については、町内の小学生が所属しているスポーツや文化団体を対象にスーパーキッズ育成団体助成金や、中高生を対象に、文化・芸術・スポーツなど、各分野においてトップランナーとして活躍することが期待される生徒に、さらなる成長や技術向上のための財政支援として、未来トップランナー育成・応援助成金事業を継続し、この2つの事業を併せて、110万円を計上しております。

続きまして、公債費については、3億7,203万円、前年度対比2,993万円、率にして8.7%の増となっております。

予備費については、3,700万円を計上しております。

以上が一般会計における令和2年度当初予算（案）のあらましとなります。  
続きまして、特別会計、企業会計についてご説明申し上げます。

先ず、国民健康保険事業特別会計です。

予算額13億5,238万円で、前年度対比3,260万円、率にして2.4%の減となっております。

主な減額の要因は、被保険者の減少などによる保険給付費及び保険税収入の減によるものです。

平成30年度からの、国民健康保険制度の広域化により、都道府県が財政運営の責任主体となって3年目に入ります。令和3年度の国民健康保険税の資産割廃止に向けて、経過措置を始めています。

当町では、地域住民と身近な関係の中、資格管理、保険給付、保険税率の決定、賦課・徴収、保健事業等、地域におけるきめ細かい事業を担ってまいります。

当町の国民健康保険は、被保険者の減少や高齢化、さらに軽減税率の拡充、また、税率改正などから、保険税収入は前年度対比2.3%の減となっています。

国民健康保険事業納付金については、国民健康保険制度の広域化の制度設計時の激変緩和が、引き続き図られることになっております。

制度改革の影響を鑑みながら、事業遂行、医療費の適正化に取り組んでまいります。また、引き続き保険者努力支援制度による交付金の財源確保をもとに、管理栄養士を配置し、生活習慣病の重症化予防に傾注してまいります。

保健事業の地域包括ケアシステム推進事業においては、健康の見える化事業に引き続き取り組んでまいります。

次に、国民健康保険診療所事業特別会計については、予算額7,121万円、前年度対比390万円の減となっております。

国民健康保険診療所は、地域の皆様から信頼されて、身近で安心な診療が受けられる医療機関として重要な役割を担っています。引き続き専門の医師と県立足柄上病院の医師とで診療を行い、町民の皆様の健康と地域医療の向上に取り組んで参ります。

上水道事業会計については、予算額、2億14万円で、前年度対比373万円、率にして1.8%の減額となっております。

水道使用料収入につきましては、節水志向による使用水量の減少により、6.6%の減となっております。

資本的支出につきましては、宮下水源水害対策工事設計委託や新企業会計システム・料金システム導入事業を予定しております。

引き続き、安全でおいしい水の供給と非常時に対応できるよう取り組んでまいります。

次に、寄簡易水道事業特別会計については、予算額、4,231万円で、前年度対比1,360万円、率にして24.3%の減額となっております。

減額の主な理由は、投資的な配水管布設替工事費の進捗に伴うものです。

歳入につきましては、水道使用料収入が前年度対比0.1%の減となりますが、歳出につきましては、住民の皆様が安心して暮らせるよう、安定した供給を行ってまいります。

下水道事業特別会計については、予算額2億7,285万円となり、前年度対比3,971万円、率にして12.7%の減額となっております。

主な減額の理由は、下水道台帳整備や経営戦略策定委託事業が終了した事によるものです。

快適な暮らしを営むための生活環境の向上と河川環境の保全に向けて計画的に下水道の整備及び維持管理に取り組んでおります。

歳入のうち、一般会計からの繰入金9,480万円は、町債の償還に充てております。

歳出の大きな割合を占めている元利償還金については、24年度の町債の借り換えにより支出を抑制し、また、平成29年度に料金改定を実施したことにより、一般会計からの繰入金への依存割合を削減させました。今後も収支バランスを勘案し、健全な運営に向けて、議員の皆様のご意見をいただきながら進めて行きたいと考えております。

続いて、介護保険事業特別会計については、予算額1億4,713万円となり、前年度対比7,084万円、率にして6.6%の増となっております。

介護保険事業につきましては、令和2年度「第7期高齢者福祉計画・介護保険事業計画」の最終年度となり、同時に次期計画を策定して参ります。この計画では、高齢者を主体として、住み慣れた地域で生活を支える地域包括ケアシステムの深化・推進を重点目標とし、高齢者の自立支援と要介護状態の重度化防止、地域共生社会の実現を図るとともに、持続可能性を確保することに配慮し、適正なサービス提供をすることを目標としています。

次に、用地取得特別会計については、予算額2,188万円となり、前年対比5万円の減となっております。

平成23年度に取得した河内地区の旧家畜保健所跡地、平成27年度に取得した旧松田土木事務所跡地の起債に対する元利償還金を計上しております。

最後に、後期高齢者医療特別会計については、予算額1億8,798万円で、前年度対比1,441万円の増となっております。

後期高齢者医療関係では、この特別会計のほかに、一般会計から後期高齢者医療広域連合へ直接支出をする広域連合事務費負担金として、696万円と法定の市町村定率負担金1億2,165万円を計上しております。

以上が令和2年度当初予算(案)と当面の町政運営についての私の所信の一端をお終わります。

ご説明申し上げました諸議案につきましては、議事の進行に伴い、私をはじめ、副町長、教育長、課長等よりご説明を申し上げますので、よろしくご審議のうえ、ご議決賜りますようお願い申し上げます。

以上で所信表明並びに行政報告をお終わります。